

—日本中を虜にした
英朋描くヒロインたち—

天才絵師・^{ひれ ぎき えい ほう}鰭崎英朋の美人画
—朝日コレクション 明治・大正の木版口絵より
2020.9.5[土]—10.25[日]

涼 ^{しげ}な目元、小さな赤い唇、ほつれた髪が妖艶な魅力を漂わせます。講談落語『横櫓お富』(歌舞伎『与話情浮名横櫓』)のヒロインお富を描いたのは、挿絵画家・鰭崎英朋(1880～1968)です。

明治・大正期は、新聞や単行本の小説、雑誌の刊行が相つぎ、挿絵画家として巻頭を飾る口絵に採用されることは一流の証でした。とくに明治30年代後半から大正5年頃、英朋の口絵が世を席卷しました。同時期に英朋の美人画と人気を分け合ったのは、鍋木清方(1878～1972)の描く清楚な女性像でした。泉鏡花著『婦系図』(後編)の口絵

は清方と英朋の合作です。鏡を前に^{まがた}顔を赤らめるお妙と病み上がりのお鳶を英朋が、お妙を見つめる小芳を清方が描きました。二人の画家の特長的な描写が登場人物の個性を浮かび上がらせています。三人の関係は、その行方は…読者をおのずと物語の世界へ誘います。

英朋は登場人物の表情やしぐさを細やかに表現し、そこに内面の心情を重ねました。柳川春葉著『生さぬなか』(後編)の口絵は、継母真砂子が行方不明の息子滋と再会する場面です。降りしきる雨のなか、倒れ込む真砂子に滋がそっと寄り添う描写に、互いへの愛の深さが感じられます。『生さぬなか』は一

大ブームを起こしましたが、それは英朋の卓越した人物表現と心理描写によるものともいえましょう。このたび、約3,500点もの口絵を収集する朝日コレクションから、木版多色摺の口絵約100点を厳選し、今年生誕140年を迎える

鰭崎英朋の作品を中心とした展覧会を開催します。あわせて鍋木清方をはじめとする同時代の画家の口絵約50点を紹介します。明治・大正期の文学界を彩り読者を熱中させた美しき主人公たち、そして画家の繊細な描線や豊かな色彩を見事に再現した、近代の彫・摺師による精巧な技を、ぜひ間近でご覧ください。

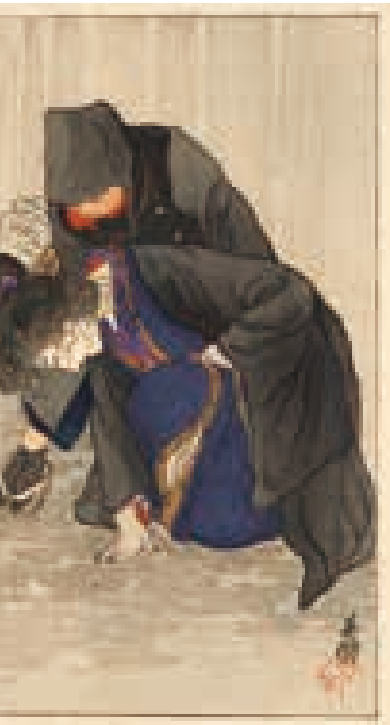
(学芸グループ長 河内えり子)



鰭崎英朋「横櫓おとみ」
(『娯楽世界』大正3年(1914)10月号 口絵)
鈴木書店



©Akio Nemoto
泉鏡花著『婦系図』後編 口絵 春陽堂
鍋木清方・鰭崎英朋 明治41年(1908)6月



鰭崎英朋
柳川春葉著『生さぬなか』後編 口絵
金尾文淵堂
大正2年(1913)5月

武内桂舟「ちらちら」
(『文芸倶楽部』第17巻第3号 口絵)
博文館
明治44年(1911)2月



梶田半古「菊のかをり」
(『文芸倶楽部』第11巻第13号 口絵) 博文館 明治38年(1905)10月

ミュージアムショップ

夏の
オススメ
商品の
ご紹介!

ふくろやタオル

雫～SHIZUKU～
タオルハンカチ 各770円(税込)
廃棄される規格外の野菜や
加工品にした後の搾りかすなどを染料として
再利用して作られた野菜色のタオルハンカチです。

杉浦陶器店

三嶋磨手茶碗
9,900円(税込)

香彩堂

虫除け香
匂い袋
各1,100円(税込)

マルアイ

手渡し和紙金封
花火
あか・しろ
各1,760円(税込)

大與

和ろうそく
特撰絵ろうそく
各1,650円(税込)